



令和元年度当初予算の概要

令和元年6月
福岡県





令和元年度当初予算のポイント

- 豪雨災害の復旧・復興を加速する。
- 時代の変化を的確に捉え、「第4次産業革命」への取組みを進めるとともに、人生100年時代に向けて人生を充実して過ごせる「100年グッドライフ(GOOD LIFE)福岡県」を構築する。
- 地方創生の実現に向け、県民の誰もが住み慣れたところで「働く」「暮らす」「育てる」ことができる地域社会をつくっていく。

一般会計歳入歳出規模

1兆7,858億円
(前年度比533億円、3.1%増)

〔 過去2番目の規模
(過去最大は平成28年度) 〕

財政改革プランの目標達成状況

	財政改革プラン		元年度当初予算
	目 標	元年度見込	
プライマリーバランス	○平成29年度から令和3年度までの計画期間中に黒字化	71億円の黒字	豪雨災害復旧・復興対策等の特殊要因により、87億円の赤字 (特殊要因を除くと、194億円の黒字)
通常債残高	○令和3年度末通常債残高を平成28年度末に比べ、780億円程度圧縮	平成28年度末に比べ388億円の減	豪雨災害復旧・復興対策等の特殊要因により、平成28年度末に比べ、846億円の増 (特殊要因を除くと、568億円の減)
	○通常債の発行額及び残高を毎年度確実に減少させる	前年度に比べ発行額及び残高の減少	発行額は162億円の増、残高は135億円の増 (特殊要因を除くと、それぞれ12億円の減と146億円の減)
財政調整等三基金	○予期しない税収減や災害発生による支出増などへの対応に必要な残高を確保する	389億円	383億円

※ 特殊要因は、豪雨災害復旧・復興対策、国の補正予算対応、国土強靱化対応、減収補填債発行



一般会計予算のフレーム

(単位: 億円、%)

区分	令和元年度 A	平成30年度 B	比較			
			増減 A-B	伸率 A/B		
歳出	人件費	3,898	3,891	7	100.2	
	社会保障費	3,379	3,271	108	103.3	
	公債費	2,229	2,201	28	101.3	
	公共事業費	補助事業費	1,236	1,066	170	116.0
		単独事業費	726	711	15	102.2
		直轄事業負担金	257	281	△ 24	91.4
	合計	2,219	2,057	162	107.9	
	災害復旧費	389	224	166	174.1	
	行政施策費	2,564	2,469	94	103.8	
	市町村交付金等	3,031	3,075	△ 43	98.6	
	その他	149	138	10	107.6	
	合計	17,858	17,325	533	103.1	
歳入	県税等	8,213	8,042	171	102.1	
	地方交付税	2,390	2,466	△ 76	96.9	
	国庫支出金	2,087	1,863	224	112.0	
	県債	通常債	1,497	1,334	162	112.2
		臨時財政対策債	819	925	△ 106	88.5
		財政調整基金等三基金繰入金	18	5	13	360.0
	その他	2,833	2,690	143	105.3	
	合計	17,858	17,325	533	103.1	

歳出

- ◆ **社会保障費**は、幼児教育・保育の無償化等により108億円(3.3%)の増
- ◆ 豪雨災害復旧・復興や国の国土強靱化緊急対策の活用等により**公共事業費**は162億円(7.9%)の増、**災害復旧費**は166億円(74.1%)の増

歳入

- ◆ **県税等**は、法人二税や地方消費税の増により、171億円(2.1%)の増
- ◆ 豪雨災害復旧・復興等により**国庫支出金**は224億円(12.0%)の増、**通常債**は162億円(12.2%)の増
- ◆ 収支均衡を図るため、**財政調整基金等三基金**から18億円を繰り入れ

※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積上げと合計が一致しない箇所がある。



豪雨災害の復旧・復興

■ 平成29年7月九州北部豪雨災害

被災した道路や河川等の復旧を加速化、災害の再発防止対策を推進
490億4,610万3千円（226億9,290万5千円）

- ・ 道路や河川、砂防施設、農地、農業用施設、林道を復旧 302億6,301万4千円
- ・ 災害復旧と併せて行う道路や河川の改良工事、砂防施設、治山施設の設置を実施 187億8,308万9千円



<河川の改良工事>

被災者の住宅確保を支援 14億5,110万6千円（10億6,023万円）

- ・ 仮設住宅等からの引越費用、民間賃貸住宅入居の初期費用を助成 **【新規】**
- ・ 朝倉市、東峰村から受託し、災害公営住宅等を整備



<災害公営住宅のイメージ>

営農再開と産地の復興を支援 1,782万4千円【新規】

- ・ 省力機械や新たな栽培技術等を導入した「複合経営園地」を順次整備

■ 平成30年7月豪雨災害

被災した道路や河川等の復旧を加速化、災害の再発防止対策を推進
35億2,466万円（補正:179億5,112万円）

- ・ 道路や河川、砂防施設、農地、農業用施設、林道を復旧 24億6,090万円
- ・ 浸水被害が発生した河川等の改良工事を実施 10億6,376万円
（うち、山ノ井川・庄内川の改良工事 **【新規】** 10億1,850万円）



<山ノ井川の浸水被害>

※()内の金額は、特に表示がないものは平成30年度当初予算額、補正とあるものは前年度補正予算額



時代の変化への対応

「第4次産業革命」への取組み

■ 中小企業の生産性向上

現場の実態とニーズを踏まえた最新技術の導入による中小企業の生産性向上を支援

1億432万7千円【新規】

- ・ 「中小企業生産性向上支援センター（仮称）」を設置し、専門家の派遣により生産性向上をきめ細かく指導
- ・ 生産性向上に必要な自動化・IoT設備の導入を支援
- ・ 生産性向上に必要な設備導入を支援するための融資枠を創設



< IoTを活用し生産設備の監視作業を省力化 >

■ 先端成長産業の振興

IoTを活用した製品・サービスの開発を支援 5,107万1千円 (4,416万5千円)

- ・ 県内企業の優れた製品・サービスを認定する制度を創設 【新規】
- ・ 県内企業による先進的なIoTプロジェクトの普及を支援 【新規】
- ・ 「シェアリングエコノミー」の認知度向上と事業創出を促進するセミナーを開催 【新規】



< カメラを搭載したドローンの活用 >

■ スマート農林水産業の実現

スマート農業への転換を推進 1億2,590万7千円【新規】

- ・ スマート農業機械の導入を支援、収集した栽培管理データを米・麦・大豆の収量・品質向上に活用
- ・ 園芸産地の生産性向上に必要なIoT等を活用した施設・機械の導入を支援
- ・ 農業大学校でスマート農業教育を実施



<ビニールハウス内の環境をIoTで管理>

DNA解析を活用した畜産業者を支援 1,376万9千円【新規】

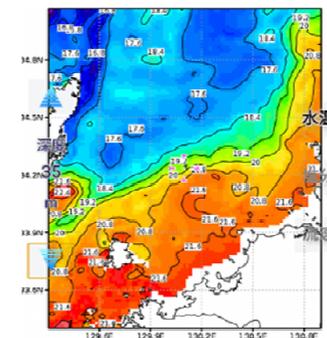
- ・ 乳用牛、「博多和牛」の改良に必要な優良牛を早期に選抜するため、牛のDNA解析を活用した畜産業者を支援

ICTを活用した林業関係者を支援 1,142万4千円【新規】

- ・ 木材の効率的な流通を促進するため、ICTを活用して需給情報を共有するサプライチェーンマネジメントを構築した林業関係者（生産・流通・加工）を支援

海況データを活用した漁業者を支援 1,469万4千円【新規】

- ・ ICTで集積したデータを活用して水温分布や潮流を予測するシステムを構築し、漁業者の操業を支援



<海況予測システムデータ>

■ 高齢者見守り活動の推進

IoTを活用した高齢者見守り機器等の導入検証を支援 443万円【新規】

- ・ 市町村が行うIoTを活用した高齢者見守り機器等の導入検証を支援

「100年グッドライフ(GOOD LIFE)福岡県」の構築

■ 一人ひとりが健康の維持、増進を目指す「健康づくり県民運動」の推進

健康づくり県民運動を推進 7,691万2千円 (2,915万7千円)

- ・ 「ふくおか健康づくり県民会議」を開催 (平成30年8月設置)
- ・ 健康づくりの取組みを宣言した企業・事業所の登録を推進
- ・ アプリを活用した健康ポイント事業を実施 **【新規】**
- ・ 市町村が実施する運動習慣定着のための取組みを支援 **【新規】**
- ・ 食生活の改善のため「チャレンジ! レシピコンクール」を開催し、受賞したレシピを広くPR **【新規】**



■ スポーツの力で県民生活を元気にする「スポーツ立県福岡」の推進

「福岡県スポーツコミッション(仮称)」の設立を準備 107万3千円 **【新規】**

- ・ 官民連携によるスポーツ大会や合宿の誘致、スポーツツーリズム等に取り組む
- 「福岡県スポーツコミッション(仮称)」設立に向けた準備会議を開催

ラグビーワールドカップ2019を福岡で開催

5億5,189万6千円 (8,910万3千円)

[県内対戦カード]

- ・ イタリア対カナダ (9月26日)、フランス対アメリカ (10月2日)、
- ・ アイルランド対サモア (10月12日)



<ラグビー日本代表選手との交流イベント>

2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致等を推進 1億2,391万9千円 (8,002万1千円)

- ・ キャンプ地誘致に取り組む市町村を支援
- ・ 実行委員会で聖火リレーのルート・ランナーを選考、気運醸成の取組みを実施

トップアスリートの育成・活躍を推進 4,508万5千円【新規】

- ・ 将来有望な小・中学生選手の発掘・育成、国体上位入賞競技の遠征・合宿を支援
- ・ 本県ゆかりのトップアスリートの県内企業への就職を支援
- ・ 女性アスリートが大会・合宿等に参加するための託児を支援



県営公園のウォーキングコース等を整備 2,539万9千円【新規】

- ・ 県営公園のウォーキング・ジョギングコースに案内板等を設置

自転車の活用を推進 747万円【新規】

- ・ 県内の大規模自転車イベントで自転車の魅力を発信
- ・ メンテナンス場所やモデルルート等の情報提供を行う「自転車の駅（仮称）」を整備



<自転車イベントの様子>

■ 高齢者がいきいきと活躍できる「70歳現役社会」の推進

70歳現役社会の実現に向けた取組み 1億6,509万2千円（1億5,816万6千円）

- ・ 70歳現役応援センターに登録する進路未決定者に就労適性診断を実施し、適性に合った仕事を紹介 **【新規】**



<70歳現役応援センター>



地方創生の推進

住み慣れたところで「働く」ことができる地域社会づくり

■ 中小企業の支援

中小企業向け制度融資を充実 融資総枠6,884億円を確保（うち新規融資枠3,285億円）

- ・ 消費税率引上げの影響を受ける中小企業、県政の重要施策に参画する中小企業を支援するための融資枠を創設 **【新規】**

キャッシュレス決済の普及を促進 613万4千円【新規】

- ・ 専門家の派遣によりキャッシュレス決済の普及を支援

地域商品券による地域経済の活性化を支援 3億6,617万7千円（4億1,787万8千円）

- ・ 商工会議所・商工会や商店街が行うプレミアム付き地域商品券の発行を支援 [発行規模：82億円]

■ 先端成長産業の振興

「福岡モーターショー2019」を開催 2,351万円

- ・ クルマの魅力やこれからのモビリティ社会のあり方等について発信するフォーラムを開催
- ・ 自動運転等の最新技術を体験できる屋外体験型イベントを実施 **【新規】**

バイオ産業の拠点化を推進 2,311万9千円（1,584万7千円）

- ・ ゲノム編集技術とIT・AIを組み合わせることで生物のもつ物質生産能力を最大限に引き出した細胞である「スマートセル」の実用化を支援 **【新規】**

水素エネルギー分野への参入を強化 1,219万3千円（435万3千円）

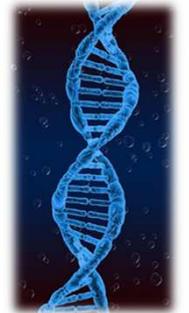
- ・ 物流施設向けの水素・燃料電池製品に参入する研究会を開催 **【新規】**

航空機産業への参入を促進 2,610万6千円（979万3千円）

- ・ 航空機部品の試作品製作を支援、海外ビジネス展開を支援、工業技術センターに航空機産業支援体制を整備 **【新規】**



<福岡モーターショー2017>



<航空機関係展示会の様子>

■ 稼げる農林水産業の振興

農林水産物の販売・消費を拡大 2億8,719万9千円（2億8,252万8千円）

- ・ アンテナレストラン「福扇華」を活用した「福岡の食」の魅力発信を強化 【新規】
- ・ 首都圏で、6次産業化商品の商談会・販売会を開催 【新規】
- ・ 海外で、県産農林水産物の販売促進を強化 【新規】
- ・ 県内の飲食店・量販店で、地産地消フェアを開催 【新規】
- ・ 学校給食への県産農林水産物の導入を支援 【新規】



<アンテナレストラン福扇華(ふくおか)>

活力ある高収益型園芸産地を育成 15億3,200万円(14億6,200万円)

- ・ 園芸産地の生産性向上に必要なIoT等を活用した施設・機械の導入を支援 【P.5再掲】



<海外での販促フェア>

畜産業の競争力を強化 1億3,625万7千円(1億3,549万8千円)

- ・ 「博多和牛」の子牛を育成する施設整備を支援 【新規】

林業の競争力を強化 1億5,032万1千円(8,634万4千円)

- ・ 森林経営管理を担う市町村を支援、林業経営者を育成・確保 【新規】

漁業の競争力を強化 3,166万8千円(2,016万3千円)

- ・ ノリ・カキ養殖、コイ種苗生産の技術を開発 【新規】



<カキ養殖>

農林漁業就業者の確保・育成対策を強化 3,003万5千円(1,639万9千円)

- ・ 求職者と求人農林漁業者とのマッチング、合同会社説明会、現地見学会を実施 【拡充】
- ・ 時代の変化に対応した農業者を育成するため、「農業大学校機能強化検討会(仮称)」を設置 【新規】

■ 国内外からの誘客の促進

ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピックの観光プロモーションを強化 6,103万1千円（2,244万9千円）

- ・ ラグビーワールドカップ2019に訪日する海外メディアと連携したプロモーションを実施 【新規】
- ・ 航空会社と連携し、欧米豪向けのプロモーションを実施 【新規】
- ・ 中国からの個人旅行者の増加に向けたプロモーションを実施 【新規】
- ・ 「CNN Travel」で紹介されたスポットを中心としたプロモーションを実施 【新規】



<外国人観光客の体験風景>

地域資源を活用した観光プロモーションを強化 5,872万9千円（5,627万9千円）

- ・ 中部地方からの誘客を促進するため、世界遺産等をテーマとしたプロモーションを実施 【新規】
- ・ J R西日本等と連携し、県内温泉地を取り入れた旅行商品を造成 【新規】



<「ご来福」しようキャンペーン>

観光客の受入環境を整備 5,003万8千円（1,484万1千円）

- ・ サイクリング旅行者の誘客を促進するため、サイクルスタンド等の整備を支援、国内外に情報を発信 【新規】
- ・ 観光客の滞在・周遊状況等を把握するための調査を実施 【新規】
- ・ 外国人観光客のニーズに基づいた体験プログラムの情報を発信 【新規】
- ・ 平成筑豊鉄道観光列車の停車駅における無料公衆無線LAN環境の整備と案内板の多言語化を支援 【新規】



■ 本県の魅力発信

世界文化遺産の保存活用を推進 6,929万円 (6,975万3千円)

〈「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群〉

- ・ 宗像大社神宝館奉獻品等を多言語で解説する音声ガイドを作成 【新規】

〈明治日本の産業革命遺産〉

- ・ 解説付きパネル展・小学生向け出前授業を実施 【新規】



〈沖ノ島〉



〈宮原坑〉

太宰府周辺の文化資源を活用して地域の魅力を発信 288万5千円【新規】

- ・ 九州国立博物館周辺地域と坂本八幡宮など令和ゆかりの地との回遊を促すイベントを実施
- ・ 太宰府の魅力を多言語で紹介するプロモーションツールを作成



〈太宰府天満宮参道〉
(民族衣装パレード)

■ 将来の発展基盤の整備

福岡・北九州空港を整備 65億1,354万1千円 (67億8,257万円)

- ・ 福岡空港の滑走路を増設、平行誘導路を二重化
- ・ 北九州空港の滑走路の安全性を強化

北九州空港の利用を促進 5億4,832万4千円 (5億5,870万9千円)

- ・ 国際貨物の直接搬入・通関体制構築を支援 【新規】
- ・ 国際・国内旅客路線の新規就航・定着を支援 【拡充】

公共不動産の民間活用を支援 1,149万1千円【新規】

- ・ 有効に利用されていない公共不動産を活用した民間主導のまちづくりを支援



〈エアプサン〉

住み慣れたところで「暮らす」ことができる地域社会づくり

■ 県民の健康づくりの推進

小児・AYA世代のがん患者を支援 853万7千円【新規】

- ・ がん治療を支援するため、子どもを産み育てることを望む患者への妊よう性温存治療費を助成
- ・ 市町村が行う末期がん患者の在宅療養を支援

人と動物の共通感染症対策を推進 463万8千円【新規】

- ・ 共通感染症・薬剤耐性菌対策の啓発や研修を実施



＜ゴールドリボン＞
(小児がんの理解と支援を呼びかける世界共通のシンボルマーク)



＜女性農林漁業者研修会＞

■ 女性、高齢者、障がいのある人の活躍推進

企業や地域における女性の活躍を推進 1,301万1千円【新規】

- ・ 非正規雇用の未婚女性が抱えている不安を解消するための応援講座を開催
- ・ 子育て女性の再就職を促進するための職場体験プログラムを実施
- ・ 地域活動を行う女性リーダーとの連携・協働を促進するため、市町村職員への実践講座・マッチングを実施

女性農林漁業者の活躍を推進 2,750万円 (1,374万4千円)

- ・ 女性農林漁業者の経営発展段階に応じた研修を実施 【新規】

介護人材の確保・定着を支援 8,715万1千円 (3,371万4千円)

- ・ 福祉人材センターに介護人材開拓員を配置 【新規】
- ・ 外国人留学生を介護人材として確保する介護福祉士養成施設を支援 【新規】
- ・ 外国人の介護人材に介護技能等の研修を実施 【新規】



＜介護現場で働く外国人＞

障がいのある人の活躍を支援 1,742万9千円 (382万円)

- ・ 障がい者雇用に意欲のある企業を対象にテレワークの導入に向けた取組みを支援 **【新規】**
- ・ 障がい者雇用に取り組む農家等に専門家を派遣、作業環境の整備を支援 **【新規】**

医療的ケア児の支援を強化 1,628万円【新規】

- ・ 介護職員等の医療的ケア研修受講を支援
- ・ 介助者の負担軽減のため看護師を派遣



＜テレワークに関するセミナーでの個別相談の様子＞

■ 就職・仕事の支援、働き方改革の推進

新たな在留資格「特定技能」による外国人材の受入体制を整備 3,061万5千円【新規】

- ・ 「福岡県外国人相談センター（仮称）」を設置し、三者通話・通訳サービスにより市町村における外国人相談を支援
- ・ 外国人材を受け入れる企業に対する相談窓口を整備

企業における働き方改革を推進 2,253万9千円 (1,883万2千円)

- ・ 働き方改革を実施する企業を拡大するため、県内4地域で先駆的な取組みを紹介 **【拡充】**



＜ふくおか・よかばい・かえるばいキャンペーン＞

■ 地域防災力の向上

緊急輸送道路等を整備 239億6,939万5千円 (194億2,531万5千円)

- ・ 緊急輸送道路の整備、橋りょうの老朽化対策、道路法面の崩壊・落石対策工事を実施

ため池等の安全対策を推進 70億5,439万6千円 (49億7,510万1千円)

- ・ ため池、農業用ゲート、用排水ポンプ等の老朽化対策を実施

防災意識を強化 2,191万円【新規】

- ・ 高齢者・子ども・外国人・中小企業向けの啓発冊子を作成、説明会・研修会を実施

気候変動への適応を推進 872万1千円【新規】

- ・ 「福岡県気候変動適応センター」を設置し、市町村等に気候変動による影響と適応策に関する情報を提供



＜ため池の整備＞

■ 暮らしの安全・安心の確保

性暴力対策を強化 5,447万1千円 (3,961万4千円)

- ・「性暴力対策検討会議」を開催 **【新規】**
- ・児童・生徒への教育等を行う「性暴力対策アドバイザー（仮称）」の育成研修を実施 **【新規】**
- ・「性暴力被害者支援センター・ふくおか」に社会福祉士等を配置、精神科医による診察費を支援 **【新規】**
- ・若年女性の防犯意識を向上させるため、SNSで啓発動画を配信 **【新規】**



犯罪被害者等の支援を強化 3,621万4千円 (1,797万6千円)

- ・「福岡犯罪被害者総合サポートセンター」の筑後・筑豊窓口を開設 **【新規】**
- ・弁護士による無料法律相談を実施、損害賠償請求訴訟の再提訴に必要な訴訟費用を支援 **【新規】**
- ・子ども・外国人向けに、犯罪被害者支援の啓発活動を強化 **【拡充】**

自転車通行空間の整備を促進 1,829万3千円 **【新規】**

- ・自転車ネットワーク計画を策定する市町村への研修会を実施、市町村の計画策定に必要な調査を支援



＜自転車通行空間のイメージ＞

居住支援体制の構築を支援 419万9千円 **【新規】**

- ・住宅確保要配慮者の円滑な住まいの確保を図るため、市町村や社会福祉協議会等が連携した相談体制の整備を支援



＜太陽光パネル＞

■ 資源の有効活用の推進

廃棄太陽光パネルのリサイクルを推進 602万4千円 **【新規】**

- ・廃棄太陽光パネルの保管情報を一元的に管理し、効率的に回収できるシステムの実証実験を実施

住み慣れたところで「育てる」ことができる地域社会づくり

■ 子ども・子育て支援の充実

保育所・認定こども園等の運営を支援 272億8,744万円 (210億2,072万5千円)

- ・ 待機児童解消のため、待機児童の8割を占める3歳未満児の受入れを増やす保育所・認定こども園を支援 **【新規】**
- ・ 届出保育施設の質の向上を図るため、施設が行う児童の健康診断や研修受講のために配置する代替職員の任用を支援 **【新規】**



■ ふくおか未来人財の育成

小・中・高校におけるプログラミング教育を充実 3,376万9千円 **【新規】**

- ・ モデルカリキュラムの開発や指導力向上のための教員研修を実施

県立学校におけるICT環境を整備 3億9,154万円 **【新規】**

- ・ 児童生徒の情報活用能力を高めるため、無線LANやタブレット型パソコン等のICT機器を整備

長期入院生徒の学習を支援 822万円 **【新規】**

- ・ 長期で入院する高校生への学習支援の在り方の実証研究を実施

生活困窮世帯の子どもの大学進学を支援 2,401万6千円 **【新規】**

- ・ 相談支援員が生活困窮世帯を訪問し、大学進学に向けた面接・助言を実施



＜タブレット型パソコンを使った授業＞